

九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合について

概要

県では、県内水道の統合・広域連携の『リーディングケース』として、九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合を進めている。

本年1月に開催された県副知事を会長とする「統合協議会準備会議」では、今後、統合の基本的な方向性を内容とする覚書を締結して、具体的な協議を行っていくことで合意された。

1 統合協議会準備会議

九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合に向け、協議を円滑に進めるため、統合に係る基本的な事項を協議することを目的として設置。

<委員>

会長：副知事

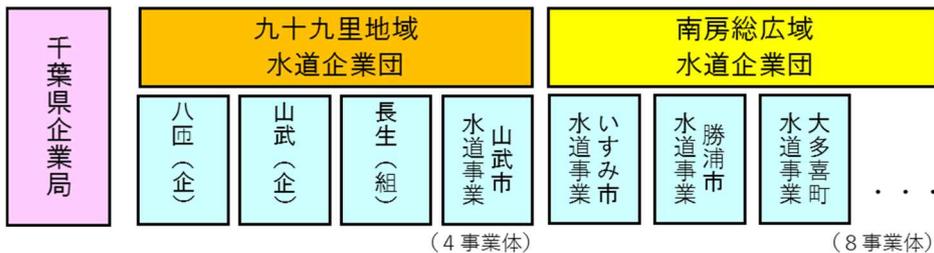
委員：総合企画部長、県企業局長、関係市町村の副首長 等
オブザーバー（有識者）

2 統合の基本的な方向性（概要）

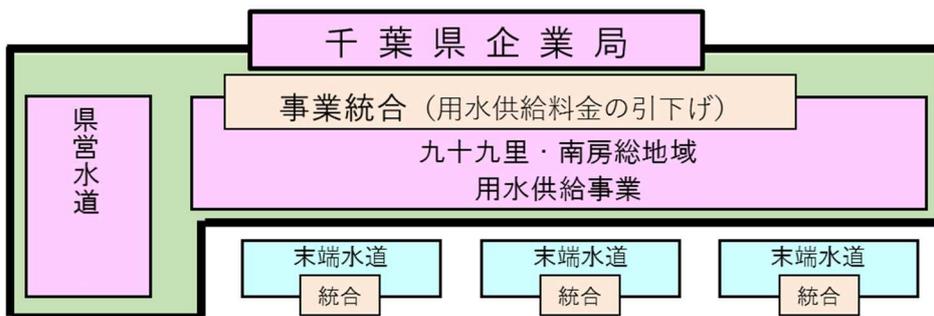
- ・千葉県企業局は九十九里地域及び南房総地域の水道用水供給事業が事業統合した水道用水供給事業（以下「統合後の水道用水供給事業」）を経営する。
- ・現在の県営水道事業と統合後の水道用水供給事業は会計を別とする。
- ・管理部門の集約や国の交付金の活用等により水道用水供給料金を引き下げる。
- ・国の交付金を活用して基幹管路の耐震化等の施設整備を進めていく。

3 統合のイメージ

<現状>



<リーディングケース>



4 現在の状況

本年4月に具体的な協議の場としての「統合協議会」設置に向け、関係市町村長等と調整が進められている。